

## 目標達成計画

作成日：平成 30 年 4 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27 30	入居者全員が女性で、骨粗しょう症の方が多く平均年齢も92.3才と高齢のため、入浴時の転倒や、ベッドからの転落による骨折等によるリスクが高いため、常に入居者の転倒・転落等のリスク防止に努めていく。	入浴時での転倒や、ベッドからの転落等が起きないように、転倒・転落「0」をめざす。	同一建物内に病院部門があり、整形外科のドクターや、看護師、理学療法士が常駐しており個別相談にも対応していただけるため、整形外科医等の指導のもと転倒・転落等のリスク防止に取り組んでいく。	12ヶ月
2	4 19	利用者同士の関係の支援はもちろんのこと、利用者と職員の交流には力を注いできたが、入居者の家族同士の交流は図られていない。	入居者の家族と職員の交流と、入居者の家族同士も信頼しあえるような交流が図られ、皆が、グループホームふくろうを通じて、一つの家族のような関係ができれば理想だと思う。	2か月に1回のグループホーム運営推進会議後には、必ずイベント等を組み込み、入居者の家族同士で交流していただける場をつくってきたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。